

# 所報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第162号 令和3年 8月 3日

## 江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

・江別市教職員夏期セミナー実施報告

## 江別市教職員夏期セミナー実施報告

今年度の江別市教職員夏期セミナーは、当初7月26日（月）、27日（火）、29日（木）の3日間で、6つの講座が計画されていましたが、7月中旬からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、予定されていた第5講座「アイヌ民族の歴史と文化」が、講座会場の北海道博物館が臨時休館措置で中止になるなど、その実施が危ぶまれる状況も見られました。しかしながら、残りの5つの講座は、感染対策として、人数制限を加えた変則的な体制で実施するなど、各校の協力を得る中で、何とか予定通り実施させて頂くことができました。ご協力に対して感謝申し上げます。

講座①の「今日的な教育課題」では、学習指導要領の全面実施に伴う授業改善の推進ポイントとして「資質・能力の育成を図る授業」「主体的・対話的で深い学びの実現」「学習評価の充実」の観点から分かり易くお話していただき、参加者からは「学習指導要領改訂に伴う授業改善の方向性について改めて確認することができた。」「2つの学校実践紹介では、主体性を育てながら深い学びにつなげる授業改善への見通しを持つことができた。」などの感想が聞かれ、大変有意義な研修となりました。



夏期セミナー第一講座の様子

講座②の「特別支援教育」では、札幌学院大学の宮崎秀淑教授が、通常学級における支援を必要とする児童生徒の障がいの特徴や困り感について示していただく中、心理学の視点からどのような支援をすすめることができるのか具体的な対処方法について、ご教授していただきました。



夏期セミナー第二講座グループ討議の様子

参加者からは「各障がいに見られる特性と症状について、理解することができ参考になった。」「具体的な事例を上げてのグループ討議では、お互いの意見を交流する中で考えを広げることができ、今後の支援に向けて非常に参考になった。」などの感想が聞かれ、現場実践に直接反映できる大変有意義な研修となりました。

講座③の「QUの活用と学級経営」では、北翔大学の山谷敬三郎学長が、QU検査とは、学級の様子を可視化する検査であり、どんな読み取りができるのか、実物を示していただく中で、分りやすく紹介して頂きました。また、QU検査を活用し、日常観察や面談では図れない児童生徒理解を、検査を通して客観的・多面的に捉え、学級経営にどのように生かすことができるのか事例をあげての研修となりました。教育現場において大きな課題となっているいじめや不登校、学級の荒れを未然に防ぐために必要な手立てを考える貴重な講義となりました。



夏期セミナー第三講座の様子

講座④の「小中一貫教育」では、北翔大学の西出勉教授からは、江別市の施策として令和5年度から一斉にスタートさせる小中一貫教育に向けて、「小中一貫教育に取り組む目的の確認」「取組のポイントとなる目指す子ども像の共有化」について、江別第二小学校の酒井寛史主幹教諭、江別第二中学校の森野泰宏主幹教諭からは、これから小中一貫教育の鍵となる先進的な実践事例報告をしていただきました。



実践の提言をする二小と二中の様子

小中一貫教育の具現化に向け、各校の課題について意識を高める講座となりました。参加者からは、「小・中一貫教育を進める上で目指す子ども像を共有し、そのために必要な資質能力を明確にする協議は短い時間でも非常に参考になった。」「第二中学校区での具体的な実践報告を聞くことができ、自校区での今後の取組に対して非常に参考になりました。」「できる取組から成果や課題を見つけ出し改善を加えていくことで、無理なく小中一貫教育を広げている実践報告は、大変参考になりました。」などの感想が聞かれ、現場での実践に反映できる大変有意義な研修となりました。

講座⑥の「不登校生徒への対策について」では、江別市教育委員会教育支援課 SSW田村千波氏、少年指導センター専任指導員川村佳広氏より、増え続けている市内不登校生徒の状況や、不登校の種となる要因、不登校生徒の兆候を見逃さず不登校生徒を作らないようにするための対処方法などについて理解を深める講座となりました。参加者からも「『登校ハードルから不登校を考える』の視点は、今まで自分の考えの中には無かった視点なのでとても参考になりました。」「江別市の不登校生徒の現状や、すぽっとケアでの取組について知ることができ、組織的に取り組んでいかなければならないと強く感じました。」などの感想が聞かれ、現場での実践に直接反映できる大変有意義な研修となりました。



グループ討議にアドバイスする講師の様子

各講座の終了後に、講座内容に対するアンケートを実施しましたが、評価では（大変良かった、良かった、普通、あまり参考にならなかった、参考にならなかった：5段階評価）、「大変良かった」と「良かった」が全体の約96%を占めるなど、高評価を得る研修となりました。また、今回の実施について「協議による交流は参考になる部分大きいのが、感染症の関係で怖い面も感じた。」「複数人でのマイク利用は、消毒作業の徹底が必要。」等の運営に関する貴重な意見もいただくこともできました。これらの意見については、次年度の計画に反映させ江別市教職員夏期セミナーが益々充実させられるように進めていきたいと考えています。